

みんなの人権

みなさんも一緒に考えませんか

【問い合わせ先】

役場人権推進室（総務課内）

☎ 963-1730（直）

意識して
みませんか

アンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスとは

アンコンシャス・バイアスは「無意識の偏見」「無意識の思い込み」などと訳されます。

自分の経験や育った環境、社会属性によって、自分でも気づかないうちに持つようになった物事の見方や考え方のゆがみ・偏りのことをさします。無意識の偏った物の見方は、普段の会話や生活にあふれています。



日常でこんなことありませんか？



例えば、「『男のくせに』や『女のくせに』などと思ってしまうことがある」、「『単身赴任をしている』と聞くと父親を思い浮かべる」、「『普通は〇〇だ』という言葉を使うことがある」、「血液型で相手の性格を想像する」など、これらはほんの一例です。アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、私たちの何気ない発言や行動として現れます。みなさんにも心当たりはありませんか。

誰にでもあるもの・・・何が問題なのか

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあって、あること自体が問題ということではありません。問題なのは、決めつけたり、押しつけたりすることで、自分と違う考え方を受け止められず、違うアイデアをいかすことができなかったり、気づかないうちに相手を傷つけることや差別することにつながり、一人ひとりの個性や能力をいかしてその人らしく生きることができなくなったりすることです。



自分自身の思い込みや偏見に気づくことが大切

アンコンシャス・バイアスをなくすことは難しいことです。しかし、自分自身の思い込みや偏見に気づき、正しい知識を身につけ、より多くの視点、より幅広い視野を持つことができるようになれば、より客観的で公平な判断ができるようになります。まずは日々の生活を振り返って自分の言動に思い当たるものがないかチェックしてみるのも良いのではないのでしょうか。

